

2022年度 日本工学院専門学校											
A I システム科											
海外研修 1											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	岩堀 信一			実務 経験	有	職種	システムエンジニア／プロジェクトマネージャ				
担当教員紹介											
担当教員は、主に金融分野・公共分野におけるシステム開発にシステムエンジニア・プロジェクトマネージャとして従事。オフショア開発を通じて外国人エンジニアとの協業経験有り。米国PMI認定PMP、AWS認定ソリューションアーキテクト-アソシエイト、日本ディープラーニング協会G検定等の資格を有する。											
授業概要											
現地のITの展示会や講演会に参加し、自身の進路にフィードバックをする。また、展示会・講習会前には出展ブースや講演会の内容を調べ、英語でのコミュニケーションが取れるように事前学習し、資料にまとめることで効果的な研修とする。研修後には自身が学んだ知識をまとめ、他人の前で発表することで情報の適切な伝え方についても学ぶ。また、現地日本人学生との異文化交流を通して、異文化を知り、柔軟な適応力を身に着ける。											
到達目標											
他文化との交流を通じて自文化を再認識し、異文化に対する適応能力を高める。現地フォーラムなどに参加することで、英語によるコミュニケーション能力を身に着け、最新の I C T 技術や最先端のテクノロジー情報を収集することができる。また、目まぐるしく変化する I T トレンドを実感することで柔軟な思考力とグローバル市場において活躍できる人材となる素養を身に着ける。											
授業方法											
現地のITの展示会や講演会に参加し、自身の進路にフィードバックをする。また、展示会・講習会前には出展ブースや講演会の内容を調べ、英語でのコミュニケーションが取れるように事前学習し、資料にまとめることで効果的な研修とする。研修後には自身が学んだ知識をまとめ、他人の前で発表することで情報の適切な伝え方についても学ぶ。また、現地日本人学生との異文化交流を通して、異文化を知り、柔軟な適応力を身に着ける。											
成績評価方法											
レポート 50% 海外研修を有意義なものとするために事前準備として実施する 成果発表 50% 発表方法、内容について評価する (口頭・実技)											
履修上の注意											
研修をより有意義なものとするため、積極的な参加姿勢(質問など)を重要視している。事前準備の密度も評価に採り入れる。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は定期試験を受講することができない。											
教科書教材											
資料を配布する											
回数	授業計画										
第1回	展示会や講演会のテーマにそった事前知識を調査し、英語での情報を整理することができる										
第2回	事前調査によって整理した情報を他者と共有するために説明、発表することができる										
第3回	展示会・講演会に参加し、見識を深め、テーマについて深層まで探究することができる										
第4回	展示会・講演会の内容を振り返り、新たな知識を定着させることができる										
第5回	結果報告、自ら調査した事柄を他者と共有するために、情報を整理して説明することができる										